











月の行事予定

7日(月) 避難訓練

8日(火) 卒園旅行

10日(木) 誕生会

11日(金) 健脚活動⑤

14日(月) 避難訓練

24日(木) 卒園式

30日(水)~31日(木) 自由登園

月の行事予定

1日(金) 進級会

5日(火) 歓迎会

22日(金) 誕生会

25日(月) 避難訓練

26日(火)~27日(水) 検尿

28日(木) 健脚活動①

※感染症の状況により中止になることもあります。









まん延防止期間中のため、裏山限定で園外に出かけました。久しぶりの園外散歩で保育園の裏山までちょっとおでかけ。落ち葉のじゅうたんを踏みしめながら進んで行きます。栗やどんぐり、まつぼっくりなどを見つけたり、山道を駆け上がったりして全身を思いっきり動かして楽しいひとときを過ごしました。



Q. こどもが自分のしたことに対して嘘を ついた時、どのような対応をしていますか?

- ・こどもが嘘をつくときには、何らかの葛藤や不安が必ず根底にあると思うので、「どうしてそうしたのか」(嘘をついてしまったのか)を聞いて自分の本音を言いやすい環境を作るようにする。
- 責めてしまいます。
- ・2人っきりになる時に冷静に聞いてみる。認めなければ深く聞かない、怒らない。
- ・嘘をついてしまった理由を聞き、そうしないといけなかった事情を理解し、気持ちに寄り添っていく。
- とりあえず嘘に付き合い、時間が経った後にそのことについて聞く。 (注意する)
- どんな嘘なのか内容による。
- ・明らかに作り話だなと思っても一旦受け入れ、様子を見て話をしてみる。そうするとこどもが嘘だと認めることもある。
- ・嘘をついてたら、本当のことを言ったときに誰も信じてくれないよと伝えている。
- ・ "嘘は悲しいこと" "うそつきは泥棒の始まり" いう事を伝える。



たくさんのご意見ありがとうございました♪

園だより NO. 439号

くまのこだより

令和4(2022)年3月1日(火)発行 さくらが斤保育園



社会福祉法人 岡山こども協会

「コロナ禍の中で」

コロナウイルスが流行りはじめてから、はや、二年が経ちます。

緊急事態宣言や、まん延防止措置など、いろいろ制限がかかり、今までとは違う生活を余儀なくれています。

私は、大好きな旅行に行く機会もなくなり、とても辛くてうずうずする状態が続いていました。ただ、コロナ禍が二年も続くと、だんだん今の生活にも慣れてきました。それでもやっぱり、早く他県に行きたいなと感じていたところ、あることを耳にして、そんな楽しみ方もあるのだと知らされました。

それは、よく会っていた孫と会えず時が経ち、可愛い時期の成長も見られないと寂しそうに口にしていた方が、最近になって、「リモートご飯しょんよ」と嬉しそうに言っているのを聞きました。夕食をお互い全く違う場所で食べながら、携帯の画面越しに「今日はなんのごはん?」など、日常のたわいもない会話をしながら食べるというもの。会えないなりに、画面越しだけど、会えいてる喜びを感じ、小さな幸せを見つけていることに感心しました。

それからは、私も旅行に行けない分、あまり足を運んだことのない近所を散歩したり、家の中では、なかなかしてあげられなかったクッキングをこどもと一緒にしたりして、楽しむ方法を見つけています。

まだ、制限はあるかもしれませんが、考え方次第で、窮屈な日常も、楽しいものになるはずです。自分なりに工夫したり、周りの楽しみ方を参考にしたりして、ポジティブに生活したいです。





はなぐみ、量学量や量学量学量や量学っきぐみ」



ゆきぐみのこどもたちが部屋から「おーい」

とこちらに向かって手を振っていて、それに

気付いたはなぐみのこどもたちも手を振り返

していました。遠くからでも異年齢のかかわ

感染症の予防の観点から、一緒に過ごす機会が

減っていますが、やはり人との関わりを持ちたい・

りがあることに嬉しく思いました。

つながりたい気持ちは大事にしたいです。















大好きな友だちと一緒にいるとついおしゃべりが 止まらなくなってしまうこどもたち。朝の集まりをし ているとやはりおしゃべりが止まらなくなりました。 しかし、CさんがDさんに「先生がお話しするよ」と 優しく伝え、2人とも話を聞く体勢になりました。

楽しさが盛り上がると、ついつい…ということもあります が、ちょっとした周りからの言葉で気づけるようになってき ます。どうすればいいかな?を考えられるような声かけを 心掛けたいですね。





食後、コップの片付けをしながら、次に行く遊ぶ場所 を見て、電気がついていないと「くらいよー」と言い、 窓を開けて換気していると「(窓を)あけてるよー」と知 らせていました。いつも使う部屋は、明るくて温かいの で、その違いにいち早く気が付くこどもたちです。

言葉の裏側には"こうしてほしいな" "こうだったらいいの にな"という思いが含まれていることがあります。何気ない 一言の隠れた思いを解読するのも子育てや保育の中での 一つの楽しみになりますよ。





Aさんが一人でボールで遊んでいるとBさんが 「いっしょにしよう」と声をかけて、二人で遊び はじめました。友だちに声をかけて一緒に遊んで いる姿をみて成長を感じました。

同じ空間の中で違う遊びをする。同じ遊びをそれぞれ で楽しむ。同じ遊びを大人を通じて一緒に楽しむ。たまた ま一緒にいた友だちと同じイメージの中であそぶ。誘い 合って遊ぶ。気の合う友だちができる。

友だちとの遊びには様々な段階があります。集団生活 を通して友だちと共に育ち合ってほしい。岡山こども協会 の願いです。

集まりのスピーチタイムの時、発表している人を 見て静かに聞き、発表が終わると拍手をしていまし た。発表が終わった後、自然と拍手をしている姿を 見て素敵だなと思いました。

見方・聞き方・しゃべり方・触り方(扱い方) 適時適切な振る舞いは相手を思いやる心から生まれ てくることが多いように感じます。思いやる気持ちの芽を 摘み取ることなく、枯らすことなく大きくしてほしいです。

室内で遊んでいると絵本棚から絵本を出し始めたEさん。 何が始まるのかなとしばらく様子を見ていると同じシリー ズや作者の絵本を集めて並べていました。片付ける時にはそ のまま同じシリーズをそろえて絵本棚へ。絵本が探しやすく なりました。こどもの目線や発想はおもしろいですね。

シリーズは同じでも、どれ一つまったく一緒の物はない中 で、レイアウトの仕方や雰囲気で"仲間"と位置づけることっ て、なんだか宝さがしみたいだなと感じます。新しい楽しみ方、 見つけたね。

